

アド・リサイクル・ウッドデッキ™ 22シリーズの施工方法

アド・リサイクル・ウッドデッキ™ 22シリーズは、全て木粉、プラスチック成分が含まれている為、吸水や温度・湿度変化により伸縮や反りが発生します。施工、ご使用においてはこの点を留意の上、現場納品、保管、施工をしていただくようお願いします。

施工のポイント

1. 施工後に雨水が溜まらないように傾斜をつけてください。
2. 施工場所の通気性を良くしてください
3. 各デッキ材の中央付近を片側グリップで1カ所固定し伸縮をコントロールしてください。

[施工前にチェックしてください]

- 施工する場所は、四方壁でふさがないように通気性を確保してください。
- 施工の際は水が溜まらないように、1~3%の傾斜を設けてください。(無垢タイプ除く)
- 根太のピッチは400mm以下(中空タイプ)または500mm以下(無垢タイプ)としてください。
- 片側グリップ(金具)をデッキ材1枚につき両側1箇所使用してください。
- 長手方向に切断する場合、反りやねじれが発生します。出来るだけ真物で施工してください。

[事前確認]

- 施工する3日前に納品して現場の気温になじませてください。
- 標準目地幅は5mmです。製品の特性上、施工時の表面温度に対して+30℃で2.5mm伸びます。また表面温度が-30℃下がると2.5mm縮みますので施工時に調整してください。
- 根太材同士の接合部分は、10mm以上の隙間をあけてください。

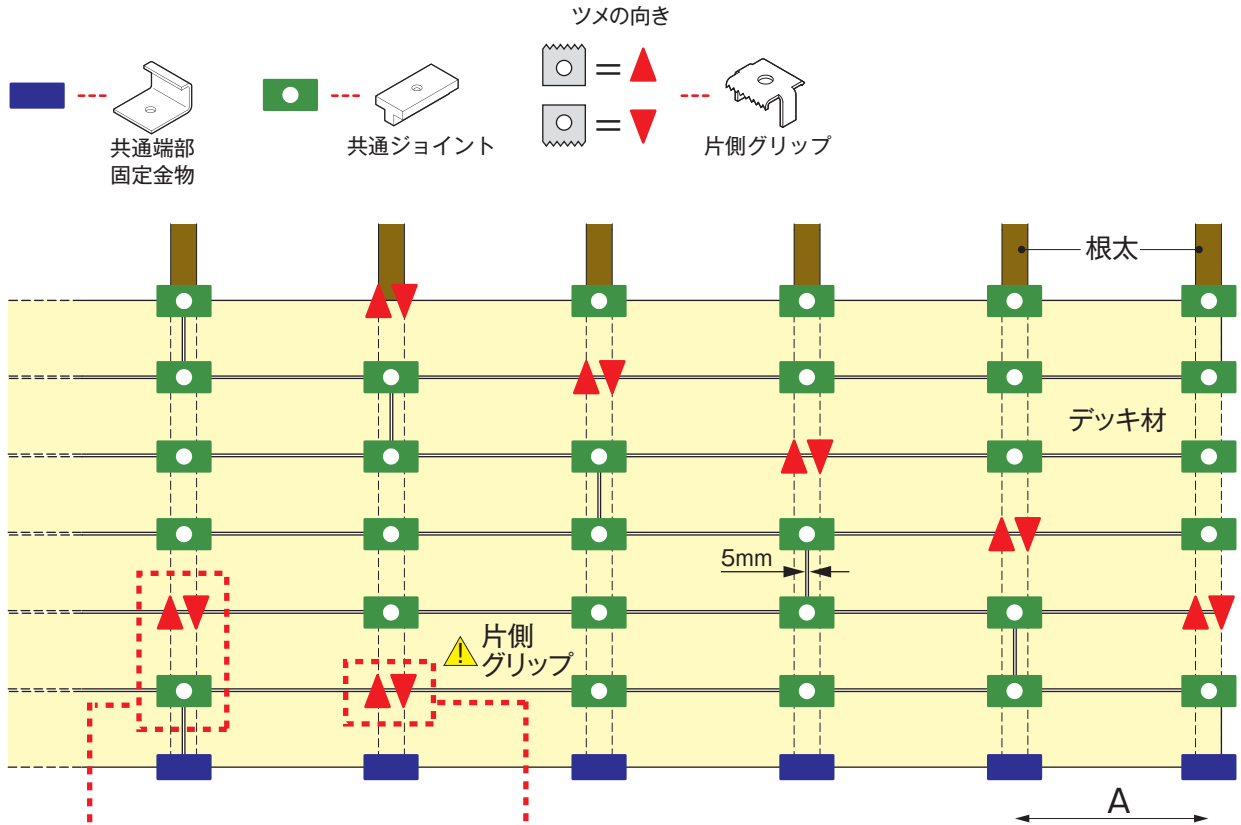
[その他注意事項]

- 大引を利用する場合は、当デッキの重量や伸縮等に適した材料を選定し、安全にご使用できるように施工してください。
- マルチフットを使用する場合は、必ず根太をマルチフットで固定してください。しっかり固定しないとデッキ材の反りにより、マルチフットが転倒したり、強風で飛ばされる危険性があります。
- カットの際、デッキ材の小口にバリが付いた場合は、紙やすり(#60程度)で削り落としてください。

[使用上の注意]

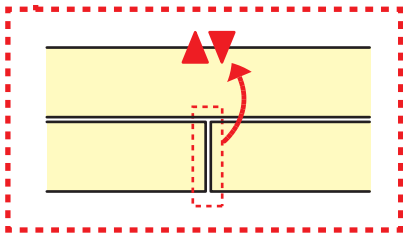
- 素足歩行も可能ですが、夏場は直射日光により表面温度が急激に高くなり、火傷する可能性がありますので十分ご注意ください。
- 製品に強い衝撃を与えないでください。破損する場合があります。
- 製品の上で焚き火や花火等をしないでください。火災の恐れがあり、大変危険です。
- 表面に揮発性の有機溶剤(ガソリンや灯油等)をこぼさないようにしてください。変色や変形の原因となります。こぼした場合はすぐに拭き取ってください。
- 原材料にプラスチックが配合されているため、摩擦により特に冬場に微弱な静電気が発生することがあります。
- 紫外線による退色は天然木ほどの変化はありませんが、経年変化による多少の退色が見られる場合があります。

[アド・リサイクル・ウッドデッキ™22 シリーズ施工例]



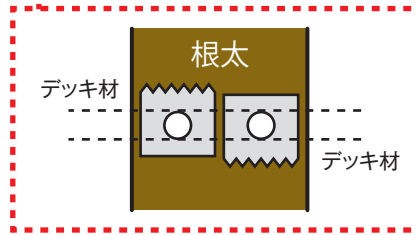
根太のピッチ：無垢タイプ：A = 500mm以下
中空タイプ：A = 400mm以下

⚠ 片側グリップの取付位置



片側グリップはジョイントの上と覚えてください。

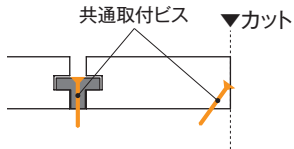
⚠ 片側グリップの取付



片側グリップは二個並べて左右1箇所ずつ、固定してください。

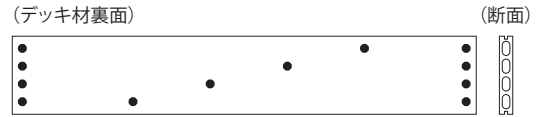
[補足 1]

最終列の納まりに調整が必要な場合、ウッドデッキをカットする。カットした面から斜めにビスでウッドデッキを根太に固定する。



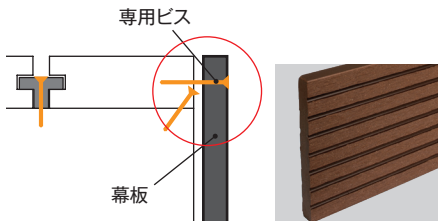
[補足 3]

水がたまりそうな箇所に施工されるデッキ材の裏面には、雨水を抜くために必ず下記の通り穴をあける。穴はφ5mmとする。



[補足 2]

幕板は必要に応じて取りつける。専用ビスで300mmピッチで固定する。



[補足 4]

ジョイント金具は、デッキの短手接続部分には設置しないでください。

